

岡山畜産便り

2026 2



真庭市 入澤さんご夫婦(酪農)

も く じ

〔特集〕

つながる家族 つなげる備中牛

(一社)岡山県畜産協会 経営支援部 …… 1

〔技術のページ〕

気候変動に応じた粗飼料生産に向けて

農林水産総合センター畜産研究所 …… 11

〔お知らせ〕

酪肉支援資金が令和8年度も継続となりました

(一社)岡山県畜産協会 経営支援部 …… 6

〔家保のページ〕

若齢でも発生!? 牛伝染性リンパ腫

津山家畜保健衛生所 …… 13

〔畜産物流通対策〕

畜産物の消費拡大について

岡山県農林水産部畜産課 …… 7

〔畜産現場の声〕

経営者としての自覚

真庭市 入澤 健斗 …… 15

〔県民局だより〕

北の大地で新見高校生が思ったこと

備中県民局畜産第二班 …… 9

〔カイチョウのツブヤキ〕

今からでも遅くはない

(一社)岡山県畜産協会 中塚 陽二郎 …… 16

動物用 カルシウム剤 ダービー

ダービーは貝化石の
微粉末であり貝化石には
カルシウムや各種ミネラルが
豊富に含まれています。
カルシウムの供給源として
搾乳牛や子牛にも
最適です。



おいしいよ〜♪



JYUCHIKU Co., Ltd. 株式会社ジュウチク

〒701-1521 岡山県岡山市北区日近 726

Tel.086-295-9230 Fax.086-295-9240

Email : jyuchiku-info@po.oninet.ne.jp

健康な仔牛づくりへの
一歩目はこれから！



弊社では、四十年余り培ってきた醗酵技術を用
いることで、乳酸菌やその他の菌類を使用した良
質な醗酵飼料を、肉用・乳用を問わず、全ての
ステージの牛に対して提供しております。

また、弊社ではこれらの技術を利用したオーダー
品の設計や生産、飼料米の粉碎などの原料の
加工も承っております。

原料を持込での加工依頼や、御要望の数量の
多寡を問わず、まずはお気軽に御相談下さい。

醗酵飼料のパイオニア

フタバ飼料株式会社

〒709-0841 岡山県岡山市東区瀬戸町万富1057-1

TEL 086-953-0832 FAX 086-953-1870

E-mail : futabashiryo.co.jp

〔特 集〕

つながる家族 つなげる備中牛

(一社)岡山県畜産協会 経営支援部

江草牧場は、高梁市備中町の肥育牛240頭、繁殖牛100頭の肉用牛一貫経営で、地域に根ざしたゆとりある家族経営と安全・安心でおいしい牛肉生産を目標とした、備中牛ブランドの中核的な生産農家です。

このたび、その経営が認められ、令和7年度全国優良畜産経営管理技術発表会で優秀賞を受賞されました。そこで今回は、受賞された江草孝一さん・真弓さん夫妻、後継者の真一さん・未来さん夫妻に、これまでの経営の歩みやこれからの展望についてお話を伺いました。

【江草 孝一さん】



(畜産協会、以下協会) まず、経営主の孝一さんに就農した経緯を伺います。高松農業高等学校(以下高松農高)、岡山県立農業大学校に進

学(以下農大)されていますが、どのような思いで進学されましたか。

(江草孝一さん、以下孝一) この地域は和牛繁殖農家が多く、繁殖経営に魅力を感じていて、中学校の先生に牛を飼うなら高松農高がいいと勧めてもらった。地域内には高松農高の人が多く、周りの人にも勧められた。当時、家で父は乳牛3頭を飼っており、朝搾乳して会社に行っていた。母はトマトを作っていて、トマトの前はタバコやコンニャクを作っていた。

農大進学後に、扱う金額が大きい肥育経営が面白そうと思い、肥育で多くの頭数を飼いたいという夢ができた。

(協会) 農大卒業後すぐに就農されていますが、その時の経営計画はありましたか？

(孝一) 計画というよりも日々牛を飼うことが頭にあった。それと若い頃なので、仕

事以外に遊ぶことも考えていた。

(協会) 就農後9年目には肥育牛頭数を今と同規模240頭にされましたが、当初から考えていたことですか。

(孝一) 大きな牧場に視察や見学に行くと、いい車に乗っている人が多く、こりゃすげえなあ、こりゃぼっけえ儲かるなあと思った。就農後に事業を使って牛舎を建てて肥育を始めた。肥育を10年くらい続けたが、エサ代が溜まり負債が多くなり、農協や普及所からの提案で畜特資金を借り入れた。一産取り経産肥育を取り入れながらやっていたが、なかなか上手く行かなかった。息子が就農して繁殖が軌道に乗って良くなった。わしだけではちょっと無理だった。息子には行き当たりばったりと言われるが(笑)

(協会) ただ、実際は、息子さんの真一さんが就農する前に畜特資金を計画どおり完済していますよね。

(孝一) 以前は牛舎を建て、牛を入れて、大きくするばかり考えてたけど、畜特資金を借りている間は補助事業も利用することなく耐えた。畜特資金の返済が終わり、息子が就農したので、繁殖に力を入れて繁殖牛を増やした。ちょうどその時は牛が高くなる前で、繁殖牛舎を建てて、2年で50頭から100頭になった。

(江草真一さん 以下真一) 畜特資金を返済できたのは、一産取り経産肥育の効果が大きいと思う。借入後にこの取組を拡大している。資金の回転が早く、資金繰りが改善した。行き当たりばったりだけど外れなかった(笑)

(協会) 畜産をしてきて、一番大変だったことを教えて下さい。また、それはどのように乗り越えられましたか。

(孝一) やっぱり借金。畜特資金を借りる際に、負債の実感が湧いて、廃業しないと

いけないかという思いもあった。周りからは最後の資金だと言われた。それとBSE。エサ代の返済のため、農協に肥育農家が呼ばれて、しんどかった人が多かったし、自分もしんどかった。

(真一) 手を上げるくらいしんどい状況は、自分は知らなかったし、全然そんな感じを見せなかった。

(協会) 畜特資金返済中に、精肉販売を始められています。そのときの思いを教えてください。

(孝一) 消費者の方に知ってもらい、自分が作ったものをみんなに食べてほしいという思いがあった。100gでも50gでも買ってもらえるのではと思って始めた。

(協会) 備中牛については、商標登録や精肉販売、給食での利用、ふるさと納税返礼品等、中核的な生産者として多くの取組をされていますね。

(孝一) 県下で4つの和牛銘柄がある中で、ロットは少ないが肉質は負けない自信があり、備中牛の生産者はみんな一緒に頑張っている。県内に多く広め、地域からだんだん輪を広げていきたい思いで色々取り組んでる。

(協会) 肉用牛経営の魅力ややりがいを教えてください。

(孝一) 良い牛を育てたときはやりがいを感じるし、肉にして高く評価され、単価が高かったときは嬉しい。

(真一) 一からここまで来るのは難しい産業だと思う。ただ、家族皆で繋げる産業という事が魅力。

(協会) 平川村定住推進協議会で会長を務め、就農・定住支援に積極的に取り組まれています。地元への思いを教えてください。

(孝一) 過疎が進んでいるが、トマトやブドウの産地を維持しなければならないという気持ちがある。ここで工業は難しいから、農業で平川を守りたいという意識はずっとある。

(協会) ところで余暇はどのように過ごされていますか。

(孝一) 地域の色々な役があるし、趣味にもなるけど、秋になると備中神楽でいろん

な所へ行く。それから酒を飲むのが好きで、月に1回程度は、地域の園芸農家や肉用牛農家を集めて、牧場のバーベキューハウスで懇親会をしている。お互いに色々な話ができる。

(協会) 真一さんから江草牧場に就農したいと伝えられた時の思いを教えてください。

(孝一) 農業高校に行くのかと思っていたが、高校は普通科。就農したいと直接伝えられてはない。中国四国酪農大学校（以下酪大）に進学した時、ここで就農すると思った。嬉しくもあり、不安もあった。畜産は金額も大きく、浮き沈みが激しいので、わしと同じように負債を抱えないかという心配もあった。嬉しさ半分、不安も半分。

(協会) 親子が牧場で上手く働くために心がけていることはなんですか。

(孝一) 少し口出しするけど、自由に思うようにやってもらいたいと思っている。わしも歳だし、時代も違うし自分の思っていることが違うことがある。上手くやれているのは、肥育と繁殖で専門が別れていることもある。

(真一) 担当する専門が違うからこそ、それぞれの考えでできる。考えが違うから、同じ専門でやってはいけないと思う。はっきり専門や担当分けてるからこそ、責任感にも繋がっている。

(協会) とともに専門は違いますが肥育を担当されている弟の国昭さんも、孝一さんと同じく農大に進学し、就農されていますね。

(孝一) 相談は特になかった。兄弟3人とも高松農高に進学した。みんな牛飼いが好きだったのだろう。

(江草真弓さん、以下真弓) 国昭さんは兄のもとを追いかけてかな。当初は上り調子でその姿を見たら、楽しそうに見えたはず。

(協会) 兄弟で牧場経営に携わられていますが、兄弟ならではの強みを教えてください。

(孝一) 一人よりは二人、二人よりは三人。頭数も多く、牛舎もだんだん増やして、それぞれが別の専門を担当している。弟はトラックや車が好きで、出荷や運送をしており、分担が上手くいっている。

(協会) 阿吽の呼吸で作業分担が上手くいっ

ている部分もあると思いますが、意見が分かれる時はどうしていますか。

(真弓) お互い言い分があり、私に言うてくる。どちらも相手が外に出ることが多いと不満を言うけど、二人とも出ることが多いので、お互い様ですね。

(協会) 真弓さんがクッション役になっていると感じます。聞いてもらえる人が家族の中にいることがいいですね。

(真弓) 愚痴を聞くだけで、どうしてあげることができないけど、お互い様でしょと言うだけ。あれだけ言い合っているから、お互い様としないと一緒に仕事はできないから。

【江草 真弓さん】



(協会) 真弓さんにお伺いします。結婚前、就農前は、何をされていましたか。

(真弓) 実家はすぐ近くで、水島から実家に帰って、高梁

市の会社に勤めているときに結婚が決まった。それで、会社を辞めて江草牧場に来了。実家に畑はあったが、農家ではない。祖父が1～2頭牛を飼っていたが、肥育牛ではなかったので、江草牧場に来了て大きさに驚いた。来了時には畜特が始まっていたのでずっと生活は大変だった。

(協会) 孝一さんとはどこで知り合いましたか。

(真弓) 孝一さんの父と私の母が同じところで働いていて、子供の結婚をそろそろという話になっていた。仕事から家に帰ったら孝一さんが座っていて、それから付き合い始めた。

(協会) 江草牧場に来了後の牧場について教えて下さい。

(真弓) 本当に最初はしんどいなと思っていましたが、入った以上は何とか乗り切らないといけなかった。今は哺乳と経理をしている。これを買ったけえ払ってくれえと請求書を渡され、何度腹が立ったか(笑)

(協会) 家族経営の魅力を教えて下さい。

(真弓) 内部が分かりやすくいい。普通、お互いの1日は仕事後の食卓で分かるけど、家族経営だとお互いが1日何をしているかがすぐに分かる。ストレスももちろんあるけど、今は孫たちと遊んで発散してます。

(協会) 一番きつかったときは？

(真弓) コロナの時。畜特の時は毎月の決まった支払いでしんどかったが、コロナの時は先が見えないことで不安としんどさが重なった。でも、牛に携わることが楽しかった。私は伝票を見て溜め息が出るけど、何にも負けずみんな牛の世話をするといい。

(協会) 真弓さんが家族のそういう姿勢を認めていて、みんなはそのことを分かった上で家族で牛を飼っているのですね。

(真弓) まだ息子は若いから頭数を増やしたいかもしれないが、頭数よりも質を落とさないように心掛けてくれたら、もう見守るしかない。共進会で上からずらりと江草牧場の名前が並ぶようになって、初めて褒めてあげたい。それが夢ですね。

【江草 真一さん】



(協会) 畜産をしたという気持ちはいつからありましたか。

(真一) ほかにしたい仕事が思いつかなかった。子供の頃から遊びの一環として

牛飼いがあった。親が楽しそうに仕事をしながら、旅行に行ったりいい車に乗ったり、他の家よりいい生活をさせてもらっていたと思う。やれとは言われなかった。

(協会) 畜産業にどのようなイメージを持たれていましたか。

(真一) トラックを見るのが好きだった。市場に行くとみんな豪快な人で、儲かるんだろうなと思ったし、そういう人たちに惹かれた。

(協会) 普通課の高校、その後酪大に進学されていますが、どのような思いでしたか。

(真一) 高松農高のオープンスクールにも行ったが、野球がやりたかった。中学の先

生には、野球の強い高校を勧められ、大学卒業後に酪大に行って勉強する道もあると言われた。父は高松農高に行ってもらいたかったんだろうなと感じてはいた。酪大に進学したのは、周りの先輩の畜産農家が酪大に行っていて、農大は牛がいなかったから。酪大では1年間は酪農の作業、2年目は校外実習もあり、資格も取れる。

(協会) 酪大卒業後に就農されていますが、そのときの計画や目標を教えてください。

(真一) とりあえず繁殖をしないとこの牧場は危ないという思いがあり、繁殖に力を入れた。

(孝一) 当時は一産取りだけだった。種を付けるとかの問題じゃなかった。

(真一) 繁殖牛を50頭から100頭にした。酪大で聞いた話が、実際に現場で実践してこういうことだったのかと分かった。

(協会) 真一さんは「家族の時間を持てるゆとりある経営」を目標の一つされていますが、余暇はどのように過ごされていますか。

(真一) 妻と買い物に行っておいしいものを食べる。岡山市内も行くが、福山が多い。子供は保育園に行っている間に、二人で出かけることが多い。休みは欲しいので、そのために詰めてやっている。養牛カメラや牛温恵を入れるのに、補助金がいいタイミングであり、巡り合わせが良かった。

(江草未来さん、以下未来) でも、家族で遊びに行ってもエサの時間があるので、すごくせかしてくる。もうちょっと子供のペースに合わせてほしいと思ったりもする。

(協会) そういった話を笑いながら出来るのはいいですね。ところで、将来子供に畜産をしてほしいですか？

(真一) ゆくゆくは誰かにしてもらえればいいなと思っている。牧場が続いていくことが一番、自然に子供から継ぎたいと言われるような経営にしたい。

(協会) 今後の目標を教えてください。

(真一) 現状維持。環境がどんどん変わっていく中で、維持していきただけでも難しいけど、ゆとりのある今の生活を続けられるようにやっていきたい。

【江草 未来さん】



(協会) 沖縄県の非農家出身とお聞きしました。酪農大学校に進学された時の思いは。

(未来) 江草牧場が行き当たりばったり

との話がでたが、私も行き当たりばったりの選択をしてきた。祖父母は農家だったので、農家の生活はこんな感じかなっていうのはあったし、居心地がいいと思っていた。中学の職場体験で行った沖縄県内の牧場の人が酪大を教えてくださいました。私も自然や動物が好きだったからというほんやりした感覚で酪大を選んだ。そこで(真一さんと)出会いました。

(協会) 酪大での生活はどんな風に感じましたか。

(未来) 新鮮なことばかりですごく刺激的だった。畜産も新鮮だったけど、沖縄にはない冬に雪が降るとか、紅葉があるとか、身近な生活も違っていて濃い二年間で楽しかった。

(協会) 江草牧場に来てからの畜産の印象はどうですか。

(未来) 結婚してすぐ子供を授け、子供も増えて、子育てに専念させてもらっている。現場にはあまり行けてないです。

(協会) 将来はどのように牧場に関わっていきたいですか。

(未来) 言われたことをやっていきたい。優良発表会で、女性経営者を見て刺激を受けた。皆さん主体的に自分で考えて動いてすごいなって。でも、自分は違うタイプだから無理に真似しなくてもいいと思っている。サポート役として頑張っていきたい。

(協会) お母さんと娘さんがとても良い雰囲気を感じられます。

(真弓) 嫁に来てもらってありがたいですね。息子世代が穏やかにやってくれれば、私達は一步外から見守っている。

(未来) 沖縄の家族と電話したり、子供の写真を共有したりしているときに、沖縄の家族から結婚して良かったね、良いところ

に嫁いだねっていつも言ってもらえる。ありがたいと思っている。嬉しくて涙が出ます。

(協会) よかったですね。それでは孝一さん、今後の目標を教えてください。

(孝一) 県の枝肉共進会で上位を目指して、それと楽な農業、楽しい農業で持続する経営。赤身嗜好など、時代は変わるが、どうなるかは分からない。私は今と変わらないやり方で頑張る続け、後は息子たちに任せる。

(真弓) 毎年、共進会で良い成績を取ることを継続できるように。

(協会) 若い農家へのメッセージをお願いします。

(孝一) 牛なら牛、トマトならトマト、ブドウならブドウを好きになって、消費者の

方に喜ばれるようなものを作ってもらいたい。そうすりゃあ、みんな幸せになるんじゃないかな。農業の基本的なことだけど、慣れてきたらズレて自分流になる。なかなか難しいが、基本は基本だと思う。基本に忠実に真面目に正直にやってもらいたいと思っています。

(協会) 本日は貴重なお時間を頂きありがとうございました。

※全国優良畜産経営管理技術発表会の
動画・配布資料はこちらからご覧いただけます。



オールインワンが自信を持ってお届けします



ついに登場!
乾乳から分娩へ
**移行期
サプリメント**



乳牛・肉牛飼料の専門メーカー

株式会社 **オールインワン**

ご用命は

中国支店: 〒710-0826 岡山県倉敷市老松町1丁目2-40-101
TEL(086)427-6300 FAX(086)427-6011
E-mail: y-suwa@all-in-one.co.jp

〔お知らせ〕

酪肉支援資金が令和8年度も継続となりました

一般社団法人岡山県畜産協会 経営支援部

令和7年度緊急対策として措置されていた「酪肉支援資金」ですが、昨今の畜産情勢と資金需要を受け、以下のとおり令和8年度も継続されることとなりました。

酪肉支援資金

(酪農・肉用牛担い手緊急支援資金)

3年分の償還額を長期・低利で借換えることによる償還負担の軽減と、経営環境の変化への対応をサポートする制度資金です

令和8年度も継続

(令和7～8年度緊急対策)

3年分の借換で
キャッシュフローを
確保

酪肉支援資金はこんな資金です

ポイント 3年分の返済金額を借換えることで、負担軽減効果を高めます

酪農・肉用牛経営における
3年分の返済金額を限度額として、
長期・低利で借換を行うことができる
制度資金です。

対 象	酪農経営・肉用牛経営 〔令和7年度に本資金を借り入れた方は、 令和8年度貸付の対象外です〕
限 度 額	3年分の返済金額
償還期限	25年以内(うち据置期間5年以内)
貸付金利	2.50% (令和8年1月20日現在) 最新の金利は、金融機関にご照会ください。
貸付予定日	令和8年2月末 令和8年5月末、8月末、11月末、令和9年2月末

(借換イメージ)

経営環境の変化への対応をサポートします

持続可能な経営に向けた経営構造の見直しに対し、畜産協会、金融機関、JA営農指導員、普及指導員、家畜保健衛生所、農業共済獣医師等がサポートします。

まずは、地域の農協等金融機関、普及指導員、畜産協会、自治体にご相談を!!

中央畜産会

〔畜産物流通対策〕

畜産物の消費拡大について

岡山県農林水産部畜産課 経営流通班

1 はじめに

こんにちは！私たち岡山県畜産課経営流通班です！皆さん畜産課といえば・・・さあ事業推進だ生産振興班！うー防疫で忙しいぞ衛生環境班！の2班のイメージが強いですね・・・かたや経営流通班の業務は皆様の目に触れる機会が比較的少ないのかもしれないかもしれません。

今回は特別に経営流通班のお仕事をこっそりのぞいてみましょう！

2 よし、牛乳を飲もう！

6月は「牛乳月間」として、全国で牛乳の消費拡大運動が重点的に展開されます。

岡山県でも関係団体と協力して様々な活動を実施しました。

6月6日には生産者を代表しておかやま酪農業協同組合の方々が知事を表敬訪問し、その際に贈呈していただいた県産牛乳3,000個、県産ヨーグルト2,000個は県主催のイベント等で活用されました。



県産牛乳消費拡大に向けて大変熱気のコもった表敬訪問となりました。写真のとおりに、伊原木知事も満面の笑みです！



2体のマスコットキャラクターも応援に駆けつけてくれました！右は皆様ご存じ「ももっち」、左のウシさんはこの度知事から「MOW君」と仮称を頂きました。次回までに正式名称を決定するよう指示がありましたので、皆様からの素敵なアイデアを募集中です！

その後我々は岡山駅前広場に繰り出し、啓発チラシと牛乳用フレーバ1,000袋を配布しました。



突如駅前にはホルスタイン柄シャツの集団が集結したため、通行人に不審に思われているところでした。



その後ホル柄シャツは散り散りになり、県産牛乳消費拡大へのご理解ご協力を丁寧にお願ひしました。

県ではこの他にも関係機関と連携して東京都庁全国観光PRコーナー、おかやまミルクフェアへの出展等、様々な乳製品消費拡大の取組を進めています。

3 さあ、牛肉を食べよう！

大盛況で幕を閉じた大阪・関西万博は記憶に新しいところですが、岡山県も8/22～8/24に『おかやま「桃太郎の夏休み」』と題して県及び県内27市町村の参加により大々的なイベント出展を敢行しました。我々経営流通班も全農岡山県本部、県産牛肉銘柄推進協議会のご協力の下、おかやま和牛肉の試食PRにより県産畜産物の知名度向上を図りました。



会場ではおかやま和牛肉を1日40kg（3日間120kg）、3日間を通じて約3,000人に提供しPRを行いました。



会場のEXPOメッセ（屋内展示場）はまあ3日間ともすごい人出で・・特に8/23（土）には入場者数25,850人と万博開幕以降最多を記録しました。



おかやま和牛肉の試食を待ち望む行列もブースからはるか遠く建物の外にまで伸びました。

「おかやま和牛肉の人気もここまで来たか」なのか「牛肉を無料で試食できるなら酷暑の中でも人は並ぶものである」なのか自問自答しつつ、とにかく我々はひたすらにお肉を焼き、「おいしい！」の声を頂きました。

県では他にもおかやまマラソンなどのイベントに参加し、おかやま和牛肉、岡山市場発F1牛肉「清麻呂」等の情報発信に努めています。

4 おわりに

今回ご紹介したのは我々の業務のほんの一部で、県営食肉地方卸売市場の運営、学校給食用牛乳供給事業、食品表示などなど、皆様に安全・安心な畜産物を供給するため、経営流通班は日々業務に励んでいます。

読者の皆様もお買い物や外食の際には、ぜひ県産畜産物の消費拡大にご協力ください！

〔県民局だより〕

北の大地で新見高生が思ったこと

備中県民局農畜産物生産課畜産第二班

1 はじめに

全国和牛能力共進会北海道大会がいよいよ来年に迫ってきました。

県立新見高等学校は前回の鹿児島大会特別区において優等賞4席という素晴らしい成績を収めました。

全共は5年に1度のため、新見高生には早期から飼養管理や調教の技術を学ぶとともに全共への出品に向けた意識を高めてもらう必要があります。

そこで備中県民局では、全共の開催地である北海道への視察研修をサポートしました。

視察後、参加した生徒3名からのレポートが届いたのでその一部を紹介します。

2 視察研修報告

(1) ホクレン家畜市場

「ホクレン十勝地区家畜市場には牛が傷つかないようにセンサーが設置されていて、安心安全な施設になっていました。また、とても広く販売者や購買者が使いやすい設計になっていました。」

「牛ファーストという考え方が印象に残りました。ただ売買するだけでなく、牛を大切にするための環境や工夫に感心しました。」

「非常に充実した会場であり、自分たちの牛を連れていくことを想像すると、これからの日々にやりがいを感じました。」

(2) 帯広農業高校

「帯広農業高校がモデルの作品を見たことがあります。想像していたよりも敷地が広く、実習がしやすい環境だなと感じま

した。野菜なども育てられており驚きました。」

「自分たちの学校とはスケールが違い、このような環境で経験を積めるのは素晴らしいと感じました。」

「農業教育だけでなく部活動も豊富で充実していました。」



帯広農業高校の広大な敷地

(3) 帯広畜産大学

「和牛が放牧されていて、ストレスや運動不足もなく自然な食事ができることが健康的な肉質につながるのだなと感じました。」

「研究に取り組む大学生を見て進学や将来について考えるきっかけになりました。」



帯広畜産大学の放牧風景

(4) 北海道立畜産試験場

「ゲノム育種価をうまく活用することで日本の和牛が更に高品質で世界に誇れるブランドになると感じました。また、肋張りの角度を測って数値化するのがすごいと思いました。」

「ゲノムについての話を聞き、畜産と科学の結びつきを知って新鮮に感じました。」



北海道立畜産試験場での講義の様子

(5) 現地の農場

「分娩や月齢によって部屋が分けられていて、牛の健康状態等が把握しやすくなっていました。」

「約10haの採草地を管理していてすごいいました。」

「牛1頭1頭に合わせた飼養管理や環境づくりが良い畜産につながるということを実感しました。」



現地農場訪問の様子

(6) その他の感想

「私は全共までには卒業してしまいますが、後輩に知識や技術を引き継ぐという形で力になりたいと思っています。」

「畜産はただ人が牛を育てるだけでなく、人と牛が互いにに関わり合いながら成り立っているということを学びました。」

「試行錯誤しながら牛を育てることで、人の暮らしも豊かになることを学び、自分もさらに畜産に携わりたいと思うようになりました。」

「今回の視察を通じて知識や視野が広がったので、今後の生活に活かしていきたいと思いました。」

3 おわりに

今回学生のレポートを読ませてもらって、若い世代の熱意が伝わってきてとても刺激になりました。今後、ICTの更なる利用拡大など時代とともに移り変わる畜産において、若い世代のパワーやアイデアが大きく影響してくるはずです。

担い手不足が課題となっている畜産業界ですが、県民局としては、このような研修が若手育成の手助けとなり、新見地域をはじめ県内の和牛振興につながっていくと考えています。

北海道大会の岡山県スローガン「晴れの和 笑顔の和 岡山和牛」のとおり、新見高生の笑顔が北海道で見られることを期待しています。

気候変動に適応した粗飼料生産に向けて

岡山県農林水産総合センター 畜産研究所 飼料環境研究グループ

【背景】

近年、地球温暖化の影響は日本の農業、特に畜産分野にも深刻な影響を与えています。夏季の高温や梅雨期の変動、突発的な豪雨などは、飼料作物の生育を阻害し、安定した粗飼料生産を困難にしています。

当研究所でも、例年はイタリアンライグラスの中生品種を選定していましたが、温暖化による気候の変動で二番草以降の収量確保が難しくなり、品種の再選定が必要になりました。そこで、気候変動に対応し、収量性の向上と夏場の高温対策を目指した品種について、収量比較調査を実施しました。本稿では、その結果を紹介します。

【調査方法等】

○品種の選定

本調査では、例年研究所で播種している中生品種「A品種」（耐寒性・耐倒伏性・収量性に優れる）を基準に、二番草以降の再生力に期待できる中晩生4倍体品種「B品種」（耐寒性・再生力旺盛）を選定しました。さらに、比較対象として安価で入手しやすい中生普通種「C品種」（耐倒伏性、耐暑性、耐寒性が劣る）を加え、計三品種の特性を比較調査しました。

○作付面積

各品種の作付面積は、A品種497a、B品種807a、C品種1,055aです。

○栽培・収穫体系

研究所での主な作業体系は図1のとおりで、播種は令和6年10月下旬に三品種すべて行い、令和7年4月上旬には春の生育促進のため硫酸の追肥を実施しました。収穫は、可消化乾物収量がピークを迎える出穂期を目標としました。

4	5	6	7	8	9	10	11	12
上中下上中下	上中下上中下	上中下上中下	上中下上中下	上中下上中下	上中下上中下	上中下上中下	上中下上中下	上中下上中下



図1 栽培体系

収穫作業は、モアコンディショナーによる刈取り、テッダーでの反転、レーキでの集草、ロールベアラーでの梱包、ラッピングマシンでの密封という一連の体系で実施しました。

○収量調査

品種ごとの収量は、10aあたりの収穫ロール数、ロール重量（一番草収穫ロールから各品種3個の平均を使用）、ロール水分（成分分析数値を流用）から乾物収量を推定しました。

【調査結果及び考察】

○収穫状況

一番草は、5月下旬の長雨により刈遅れが生じ、出穂後期から開花期にかけて、収穫しました（図2）。なお、収穫順はB品種、C品種、A品種でした。その後、7月上旬から二番草をB品種、C品種、A品種の順で収穫し、9月下旬には三番草をB品種、A品種、C品種の順で刈取りました。



図2 B品種左：出穂期 右：開花期（葯が抽出）

○収量調査の結果及び考察

【一番草】

10 a あたりの乾物収量は、C 品種（中生普通種）が最も多く、次いで A 品種（中生品種）、B 品種（中晩生 4 倍体品種）の順でした（表 1）。

収穫時の長雨による刈遅れで、耐倒伏性に劣る C 品種では倒伏が多く確認されました。倒伏は、収穫時に土が混入しやすく、サイレージの品質悪化（土壌中の雑菌混入）につながるため、収量が高くても注意が必要です。

【二番草】

10 a あたりの乾物収量は、B 品種が最も多く、A 品種、C 品種の順でした。B 品種は再生力に優れる 4 倍体品種であるため、二番草での高い収量が期待通りに得られたと考えられます。

しかし、全体的には収量が少ない傾向にありました。これは、岡山県で観測史上最速の梅雨明け（6 月 27 日）が影響し、栄養成長期に水不足となったためと推測されます。乾燥は草丈の伸長を抑制し、収量に直接影響を与えます。

再生草の収量確保は全国的な課題であり、一番草刈取時に刈取高さを 10cm 以上に設定することで、再生力を維持する方法が有効とされているため、次年度実証する計画です。

【三番草】

10 a あたりの乾物収量は、C 品種、A 品種、B 品種の順でした。すべてのほ場でヒエ、チカラシバ、ギシギシなどの雑草が繁茂しており、イタリアンライグラスが夏場の高温に耐えられず、雑草との競合に負けたと推測されます。この対策も、刈取高さを高く設定しておくことで再生力を維持し、ほかの雑草に負けないことが大切だと考えられます。

表 1 収量調査の結果

品種名	刈取	ロール数 (個)	10aあたり ロール数 (個/10a)	乾物収量 (kg)	10aあたり 乾物収量 (kg/10a)	刈取開始日
A品種 (中生)	一番	75	1.51	20,264	407.7	5月29日
	二番	20	0.40	5,404	108.7	7月6日
	三番	42	0.85	11,348	228.3	10月7日
合計		137	2.76	37,015	744.8	
B品種 (中晩生、 4倍体)	一番	114	1.41	27,555	340.8	5月20日
	二番	60	0.74	14,503	178.9	7月5日
	三番	48	0.59	11,602	142.6	9月22日
		222	2.74	53,660	662.3	
C品種 (普通種)	一番	258	2.45	57,429	545.4	5月28日
	二番	44	0.42	9,794	93.5	7月6日
	三番	112	1.06	24,930	235.9	10月23日
		414	3.93	92,153	874.8	

※ロール重量は測定結果平均から A 品種：

363kg, B 品種：488.5kg, C 品種：367.8kg

※ロール水分は成分分析結果から A 品種：

25.57%, B 品種：50.52%, C 品種：39.48%

令和 6 年度も作付けした A 品種について、10 a あたりの乾物収量を比較すると、表 2 のとおりで、令和 7 年度については、一番草から三番草まですべて収量は減少しました。

表 2 A 品種の収量比較

A 品種収量比較		R6	R7
面積(a)		1,635	497
乾物収量(kg)	1 番	89,700	20,264
	2 番	38,366	5,404
	3 番	57,008	11,348
計		185,074	37,015
10aあたり乾物収量(kg/10a)	1 番	548.6	407.7
	2 番	234.7	108.7
	3 番	348.7	228.3
計		1132.0	744.8

令和 7 年は、収穫時期の長雨、梅雨期間の少雨など、気候による収量への影響を再認識する年となりました。また、二番草以降の収量確保には、再生力に優れる品種の選定が重要であることがわかりました。

今後も、気候変動に適応した粗飼料生産に向けて、品種選定試験を実施していく計画です。

若齢でも発生!? 牛伝染性リンパ腫

津山家畜保健衛生所

1 牛伝染性リンパ腫について

牛伝染性リンパ腫（旧称：牛白血病）には、牛伝染性リンパ腫ウイルス（BLV）の感染によって起こる「地方病型」と、ウイルスが関与せずに自然発生する「散発型」があります。ウイルスによる地方病型は、数か月から数年の潜伏期間を経て、3歳以上での発生が多いとされています。一方、散発型には6か月齢以下に多い子牛型と、発症部位が限局的な胸腺型や皮膚型があります。

よく見られる症状は全身各所のリンパ節腫大、消瘦、下痢または便秘、眼球突出、元気消失などですが、症状がはっきりしない場合もあります。

今回は、同じ農場の3か月齢と9か月齢の2頭で、若齢にもかかわらずウイルス性の地方病型が疑われたケースを紹介します。

2 牛伝染性リンパ腫ウイルスについて

BLVは牛のリンパ球をターゲットにして感染・増殖するので、感染牛の血液や乳汁が感染源となります。去勢、耳標装着や直腸検査など出血を伴う処置のほか、アブなどの吸血昆虫によっても感染が成立します。また母牛がBLVに感染していると、妊娠中や出産時の産道、毎日の哺乳で子牛にうつしてしまうなど、感染機会が多いため近年発生が増加しています。

BLVはエンベロープという外膜を持つウイルスで、消石灰や塩素系、ヨード系消毒薬、アルコール製剤などが効きます。初乳は-20℃以下で凍結させればBLVを不活化させることができます。

3 発症した牛の概要

発生があった農場は黒毛和種繁殖牛20頭規模で、対尻式の繋ぎ飼ひ牛舎でした。

今回の症例では、1例目は3か月齢で体表のリンパ節の腫脹と、肺の雑音、元気消失を主訴として病性鑑定依頼があり、令和4年6月20日に剖検を行いました。

2例目は9か月齢で発育不良、鼻出血、頸部と大腿部のしこり、白血球数の増加を主訴に病性鑑定依頼があり、令和5年10月23日に剖検を行いました。なお、当該農場では平成22年に2歳のホルスタイン種、27年に6歳の黒毛和種繁殖牛での発生がありました。いずれも病畜としてと畜場へ搬入した際に、初めて判明したものです。

4 病性鑑定の内容と結果

病理解剖のほか、血液検査、ウイルス抗原検査と組織学的検査を行いました。組織学的検査では心臓、肝臓、腎臓、肺、脾臓と脳、各種リンパ節と、2例目では頸部の腫瘤についても組織切片を作り、HE染色と免疫染色を行いました。

（1）症例の外貌

1例目（3か月齢）は発育、栄養状態に異常はありませんでしたが、頸部、下けん部、左右鼠径部に腫瘤がありました。2例目（9か月齢）は発育不良傾向が見られ、頸部の腫瘤、左後肢の腫脹が確認されました。

（2）解剖所見

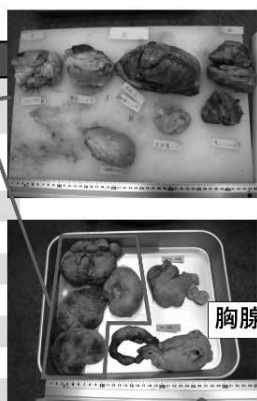
1例目では体表と腹腔内リンパ節の腫脹、肺の前葉で部分的な赤色化が見られました。

2例目では肝臓の水腫様肥大と退色、脾

臓の肥大、頸部と左大腿部に出血性水腫があったのみで、肉眼的には全身のリンパ節に異常はみられず、病変は限局的でした。

剖検所見

1例目	
体表リンパ節	腫脹 (最大15cm程度)
腹腔内リンパ節	腫脹 (7×7cm程度)
心臓	—
肺	前葉一部赤色化
肝臓	—
脾臓	—
腎臓	—
脳	—
その他	—



剖検所見

2例目	
体表リンパ節	—
腹腔内リンパ節	—
心臓	—
肺	—
肝臓	水腫様肥大、退色
脾臓	肥大 (60×15cm)
腎臓	—
脳	—
その他	頸部及び左大腿部の出血性水腫



(3) 血液検査

1例目は特に異常がなかったのに対し、2例目では白血球の激しい増加(52万超/μL)と異型リンパ球化、貧血傾向、肝酵素とBUN上昇、著しい低血糖(1 mg/dL)が見られました。

(4) ウイルス抗原検査

両例ともリンパ節から大量のウイルス遺伝子が検出され、2例目ではさらに心臓、肺、腎臓、脳からも多量に検出されました。母牛全血も検査したところ、1例目ではウイルス量が高値でした。

(5) 組織学的検査

両例とも本来のリンパ節の構造が壊れるほどのリンパ球の異常な増殖像がみられた点、肺に病変があった点が共通しており、2例目では全身臓器の血管と心臓組織でも多数のリンパ球が確認されました。

リンパ球について免疫染色したところ、1例目では散発型の子牛型に近く、2例目はBLVによる地方病型の特徴が強い結果となりました。

(6) まとめ

1例目は免疫染色で散発型の特徴を示しましたが、総合的な判断から両例とも地方病型の牛伝染性リンパ腫の可能性が考えられました。2年連続での発生が疑われたため、農場のウイルス蔓延防止を目的として、繁殖牛全頭のウイルス抗体検査を実施したところ、19頭のうち8頭(42.1%)が陽性となりました。

5 その後の対応

そこで、対尻式の牛舎構造を生かして抗体陽性の牛と、陰性の牛を下図のように、通路を隔てて列を分け、並び替えを行いました。以降は、同農場の子牛での発生報告はありません。



(↑並び替え実施後の牛舎配置図)

6 おわりに

牛の並び替えの他にも、牛舎周りの草刈りや防虫ネットなどの吸血昆虫対策、処置に使う道具の消毒、そして普段の牛舎内消毒などでBLVの感染を減らすことができます。

牛伝染性リンパ腫は治療がなく、まん延してしまうと対策が困難になってしまうため、早期の対策が重要になります。牛伝染性リンパ腫の感染状況が気になる方は、最寄りの家畜保健衛生所までご相談ください。

〔畜産現場の声〕

経営者としての自覚

真庭市 入澤 健斗

私の住む真庭市蒜山は、岡山県北部に位置する標高500～600mのなだらかな高原地帯で、そこでホルスタインを飼育しています。小さいころから酪農を身近でみながら成長し、いつかは酪農をするのが夢で地元の中国四国酪農大学へ進学しました。令和2年の卒業と同時に就農し、令和7年1月に、父からの経営移譲により、牧場の経営者となりました。

経営移譲から1年経過した最近になって経営者としてどうあるべきか？将来的にどうすべきか？など考えるようになりました。現在は父、母、妻の4人で作業していますが、将来的には両親が引退することを考えると二人で出来る酪農を視野に入れられないといけません。今後、夫婦ふたりでやっていくのか？規模を維持するならロボット搾乳も選択肢に。それとも廃業するのか？従業員を雇用してやっていくのか？牛舎の老朽化を考えると建て替えも必要。と考えるときりがありませんが今のうちに方向性は考えないといけません。現在の円安の状態を考えると不安しかありませんが経営者として次々に決断していく必要があります。

また、普段心がけていることですが、家族経営だからこそ自分のスケジュールを相手に伝える、自分の仕事が終わったから帰るではなく手伝うなど、感謝の気持ちを大切にして、言葉と行動で日々精進しています。

現在の悩みとしては繁殖と情報収集です。酪農は繁殖と堆肥処理がうまくいけば経営は大丈夫だと聞いたことがあります。それほど大事ですが繁殖状況の改善はとても難しく、乳量を追い求めると繁殖はさらに難しくなります。二兎を追う者は一兎をも得ずと過去の偉人は言いますが、微妙な餌のさじ加減が力の見せどころです。そのためにも時間があれば、牛の観察をしに牛舎にいるようにしています。答えは牛舎の牛が教えてくれます。糞の状態、毛並みの

状態、痩せ方、太り方、歩き方、表情、耳の立ち方、エサの残し方、エサの食いつき等日々の変化を観察しています。繁殖検診は月に一度共済獣医師に依頼しており、エサに関しては業者が月に一度訪問してくれているのでその都度相談しています。相談するにも何がわからないかがわからないことが多く相談自体が難しいと考えています。ここ蒜山地区はありがたいことに総会、説明会、研修会、打合せ会議、反省会、報告会、新年会、祝勝会という名の昼夜を問わずの情報交換の場がとても多く先輩方のアドバイスを頂ける貴重な時間があります。情報収集ですが、感覚的な事も大切ですが、検定成績も今後活用していきたいです。最近の検定成績は数字だけではなく色彩豊かな折れ線グラフ、棒グラフ等で視覚的にもわかりやすくなっています。体細胞数には関心があり利用していましたが、体細胞以外のデータも活用していきたいと思います。そのためにも検定後にミーティングを行い検定成績の見方の習得を考えています。

自給飼料に関しては売るほどありますが、全量を自給飼料で賄うことには抵抗感があり、購入乾草の割合を減らせません。このような悩みも経験豊かな酪農の先輩方に相談していけば解決の糸口がみえてくると思います。

最後に、私が生まれ育った蒜山ですが、主な産業は観光と農業と酪農の地です。酪農があり、草地があり、それによって生まれる美しい景色があります。蒜山から酪農が衰退することは蒜山が衰退することになります。近年、放牧が少なくなり景色もかわりました。土づくり、草づくり、牛づくりと先輩方はよくおっしゃいます。地域に根ざした酪農を次の代まで引き継ぎ、過去と未来の橋渡しとなることが自分の使命だと思います。

〔カイチョウのツブヤキ〕

今からでも遅くはない

一般社団法人岡山県畜産協会 代表理事会長 中塚 陽二郎

人生は、選択の連続であり、今の自分が不甲斐ないのも、無難な選択、楽な選択をしてきた報いだろう。後悔しても過去には戻れない。65歳を過ぎて振り返ってみても、一つの事に夢中になってコツコツと積み重ねたものがない。何も誇れるものがない。ちょっとした趣味の話を楽しそうにする友が輝いて見える。

学生の頃は、帰宅部と称して真面目に部活動もしなかったし、勉強も適当に怠けていた。親からは後で困るのは自分だよと諭されてもその意味さえ理解していなかった。結婚して子供ができ、孫ができ、その生末を想うようになって、やっと後悔の念を抱くことになった。

これからの季節、大学や専門学校等の卒業式での祝辞やら新社会人の皆さんへの花向けの言葉を送る機会があるが、いつも思うことがある。仕事や家庭の両立を図りながら幸せな人生を過ごしてほしいと心から思うのである。

アドバイスをするとしたら、一つ目は、「あいさつ」だ。あいさつは人間関係を良好に保つ最大の武器だと言える。皆さん、大きな声で「おはようございます」と言えますか？ちゃんと相手の顔をみて言えますか？目を合わせてあいさつするだけで、きつとうまくなりますよ。笑顔であいさつすれば完璧だ。偏屈の私でもいい気分になる。

二つ目は、「許すところ」だ。社会にいれば、いろいろ困難な状況に遭遇するし、理不尽なことも起こる。「自分は悪くない。

相手が悪い。世の中がおかしい。」と感ずることもある。しかし、相手を責めても、嘆いてみても、事態は好転しません。少し時間がかかっても「許すところ」「寛容のところ」をもって前向きに進んでほしいと思う。勿論、時には自分自身に対しても「許すところ」が必要なこともあるだろう。

三つめは、人生に目標を持つことだ。なんでもかまいません。できるだけ具体的に目標を立ててください。そして目標達成のため、今やるべきこと、いつ、何をするか、紙に書き起こすことです。そして、時々、見返すことです。

今、注目を浴びている大リーガーの大谷翔平選手は、高校生のときに、すでに大リーグへいく目標を掲げ、日々のやるべき課題をまとめ、コツコツ実践されたと聞く。また、ミラノ・コルティナ冬季五輪に感動するのも、その一瞬にかけた弛まぬ努力があるからこそだ。努力しても報われないと感ずることもあろうが、小さな目標なら、必ず達成できると自分自身を信じよう。

道理や損得勘定で動けば、相手方とギクシャクし、性善説で対応すれば、足元をすくわれる。我を貫けば孤立する。草枕の一説ではないが、とにかく人間社会は難しい。

それでも、理由を付けて、「動かない選択」では、何も変わらない。これからの5年、10年、やりたいことを紙に書き起こし、一つ一つ実践することで後悔のない時間を過ごしたいものだ。今からでも遅くはない。



メディパルグループ



動物の健康は 人の健康につながる

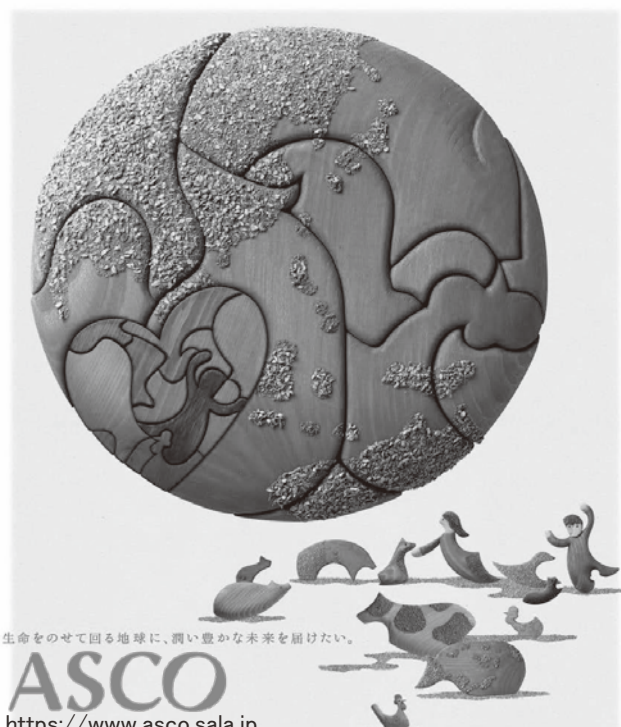
- 動物用医薬品販売の全国ネットワークを駆使し、あらゆる動物の健康維持に貢献します。
- 安全な畜水産物の生産をサポートし、獣医療の発展と食の安全・安心に貢献します。

MPアグロ株式会社

本社 〒061-1274 北海道北広島市大曲工業団地6丁目2番地13
TEL 011(376)3860 FAX 011(376)2600

岡山支店 〒709-2122 岡山市北区御津吉尾1-1 TEL 086-724-4880 FAX 086-724-4889
 AHSC西日本 〒702-8032 岡山市南区福富中2丁目6-18 TEL 086-902-2200 FAX 086-264-2500
 御津物流センター 〒709-2122 岡山市北区御津吉尾1-1 TEL 086-724-4816 FAX 086-724-4882
 東京本部・札幌・旭川・函館・帯広・北見・釧路・青森・秋田・盛岡・山形・仙台・東京・北関東
 大阪第一・大阪第二・兵庫・広島・山口・鳥取・島根・高松・徳島・松山・宇和島
 福岡オフィス・福岡第一・福岡第二・熊本・宮崎・鹿児島・鹿屋
 札幌物流センター・帯広物流センター・盛岡物流センター・関東物流センター

人と動物の健やかな共生環境づくりに貢献します



生命をのせて回る地球に、潤い豊かな未来を届けたい。

ASCO

<https://www.asco.sala.jp>

本社

〒441-8021
愛知県豊橋市白河町100番地
TEL 0532-34-3821 FAX 0532-33-3611

東京本社

〒103-0027
東京都中央区日本橋1丁目16番地3号
日本橋本村ビル7階
TEL 03-6225-5790 FAX 03-6225-5791

営業所

- ・北海道支店
札幌
- ・東日本支店
前橋、松本、旭、茨城、栃木、東京
大宮、宮城、福島
- ・中日本支店
豊橋、安城、浜松、沼津、岐阜、名古屋
- ・西日本支店
広島、山口、米子、岡山、大阪、京都



食卓からの、 ありがとう。

私たちがおいしい牛乳やお肉、

卵を食べられるのは、

畜産に携わるすべての人のおかげです。

さまざまな人の努力や思いがあるからこそ、

今日の食卓が豊かになっている。

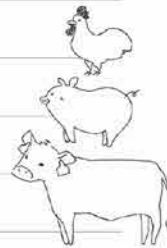
そのことを、私たちは知っています。

おいしい国産の畜産物が、

この先も続いていくように。

豊かな畜産の未来に向かって、

できることを続けます。



国産の牛乳、お肉、卵を 食べてまもう。



地方競馬と全国の畜産会組織は
日本の畜産を応援しています。
地方競馬の売上の一部は、地域のくらしや畜産の振興に
役立てられています。

<https://jlia.lin.gr.jp/tekiseikakaku/>

公営社団法人

中央畜産会

JAPAN LIVESTOCK
INDUSTRY ASSOCIATION



一般社団法人

岡山県畜産協会



高知競馬開催案内(2026)

地方競馬の収益金の一部は国内の畜産振興に役立てられています。

3月				4月(2月27日現在未定)							
開催日		備考		開催日		備考		開催日		備考	
1	日	○	ナイター	17	火	○	ナイター	1	水		
2	月	○	ナイター	18	水	○	ナイター	2	木		
3	火	○	ナイター	19	木			3	金		
4	水			20	金			4	土	○	ナイター
5	木			21	土			5	日	○	ナイター
6	金			22	日	○	ナイター	6	月		
7	土			23	月	○	ナイター	7	火		
8	日	○	ナイター	24	火	○	ナイター	8	水		
9	月			25	水	○	ナイター	9	木		
10	火	○	ナイター	26	木			10	金		
11	水	○	ナイター	27	金			11	土	○	ナイター
12	木			28	土			12	日	○	ナイター
13	金			29	日			13	月		
14	土			30	月			14	火		
15	日	○	ナイター	31	火			15	水		
16	月							16	木		

ホ ッ ト ニ ュ ー ス

令和7年度和牛シンポジウムを開催します。

- 日 時：令和8年3月27日(金) 受付開始 11:30、開催時間 12:30～15:30
- 場 所：津山文化センター(津山市山下68)
- 内 容：「チーム岡山」で資質向上！
 - (1) 地域に根ざした家族経営で、安全・安心でおいしい肉用牛生産 江草牧場 江草 真一 氏
 - (2) 子牛の生理に基づく生産性向上戦略 宮崎県農業共済組合 生産獣医療支援センター 出口 祐一郎 氏
 - (3) パネルディスカッション 子牛の飼養管理における実践内容と今後の展開について

※和牛肉の消費拡大の一貫として、昼食に弁当を準備しています。

あとがき

私は幼い息子二人を男手一つで育てた。仕事と家庭に追われ、あの頃は毎日を回すことで精一杯だった。支えてくれた人への感謝に思いが至らなかったことを、今になって思う。人は生きること必死になる時がある。周囲からは幸せに見える家庭にも、当事者にしかわからない悩みや揺らぎがある。それでも家族は、揺らぎながらもつながっていく。今、社会へと羽ばたいた息子たちの背中を見ながら、ようやくあの日々の意味を静かに考えられるようになった。経営難に直面する農家を見ると、土台となる家庭が十分に力を発揮できていない場合が少なくない。的確な経営診断を示しても、支え合う関係が弱ければ活かしきることは難しい。家族は私的な存在でありながら、経営を支える最も根源的な土台なのだと思う。本号で紹介した江草牧場の歩みもまた、家族が役割を分かち合い、ときに衝突しながら積み重ねてきた歳月だった。取材の中で、息子夫婦の奥様が「この家族に嫁いで本当に幸せです」と涙ながらに語った姿が強く心に残っている。その言葉は、経営指標では測れない、この家族の力を物語っていた。つながる家族。それは農業に限らず、社会そのものの持続を支える力なのかもしれない。私自身の歩みと重ねながら、そんな思いを抱いた。(H.F)

岡山畜産便り 2月号(冬季号)

第77巻 第2号(通巻721号)
令和8年2月27日発行
定価250円(消費税・送料含)

発行人 中塚陽二郎 編集人 藤原裕士
発行所 一般社団法人 岡山県畜産協会
〒700-0826 岡山市北区磨屋町9-18 岡山県農業会館5階
TEL 086-221-0511 FAX 086-234-6031
印刷所 ノーイン株式会社

(公社) 中央畜産会からのお知らせ

畜産映像情報

がんばる! 畜産! 9

畜産現場の“今”を30分の番組にしました!

映像を各種研修会、セミナーにご活用ください!

配信中の内容: ヨーロッパアルプ酪農の力とチーズ
街道 オーストリア・ブレゲンツァー
ヴァルト/日本畜産学会100周年
第132回大会総集編/国際養鶏養豚
総合展2024 総集編 ほか



◀スマートフォンからはこちら

▼パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産



お問合せ: (公社) 中央畜産会 経営支援部 (情報) TEL03-6206-0846

腐植・フルボ酸で 畜産のあらゆる課題を解決!

腐植土とは

落葉樹の落ち葉と有機物と無機物が約8,000年もの間地中に埋蔵され、発酵と熟成を繰り返して生成されました。フミン酸、フルボ酸、天然ミネラル、アミノ酸、ビタミン、有用菌などを豊富に含むユニークな土壌です。フミン酸、フルボ酸の化学構造や種々の性質は未解明な部分も多い神秘的な物質です。



▲ 腐植ペレット

▼ 腐植粉剤



排水処理

浄化促進・悪臭防除・汚泥改質

堆肥

無臭化・発酵促進・土壌改良

補助飼料

発育促進・飼料節約・疾病防止

飲水改善

水質改善・発育促進・疾病防止



エンザイム株式会社

腐植土とともに環境と健康を考える

〒143-0016 東京都大田区大森北2-3-16 第一かぎわだビル4F
TEL: 03-5493-2771 FAX: 03-5493-2776 MAIL: info@enzyme.co.jp
担当: 末吉 (090-5704-0011)
HP: <https://www.enzyme.co.jp/>

